



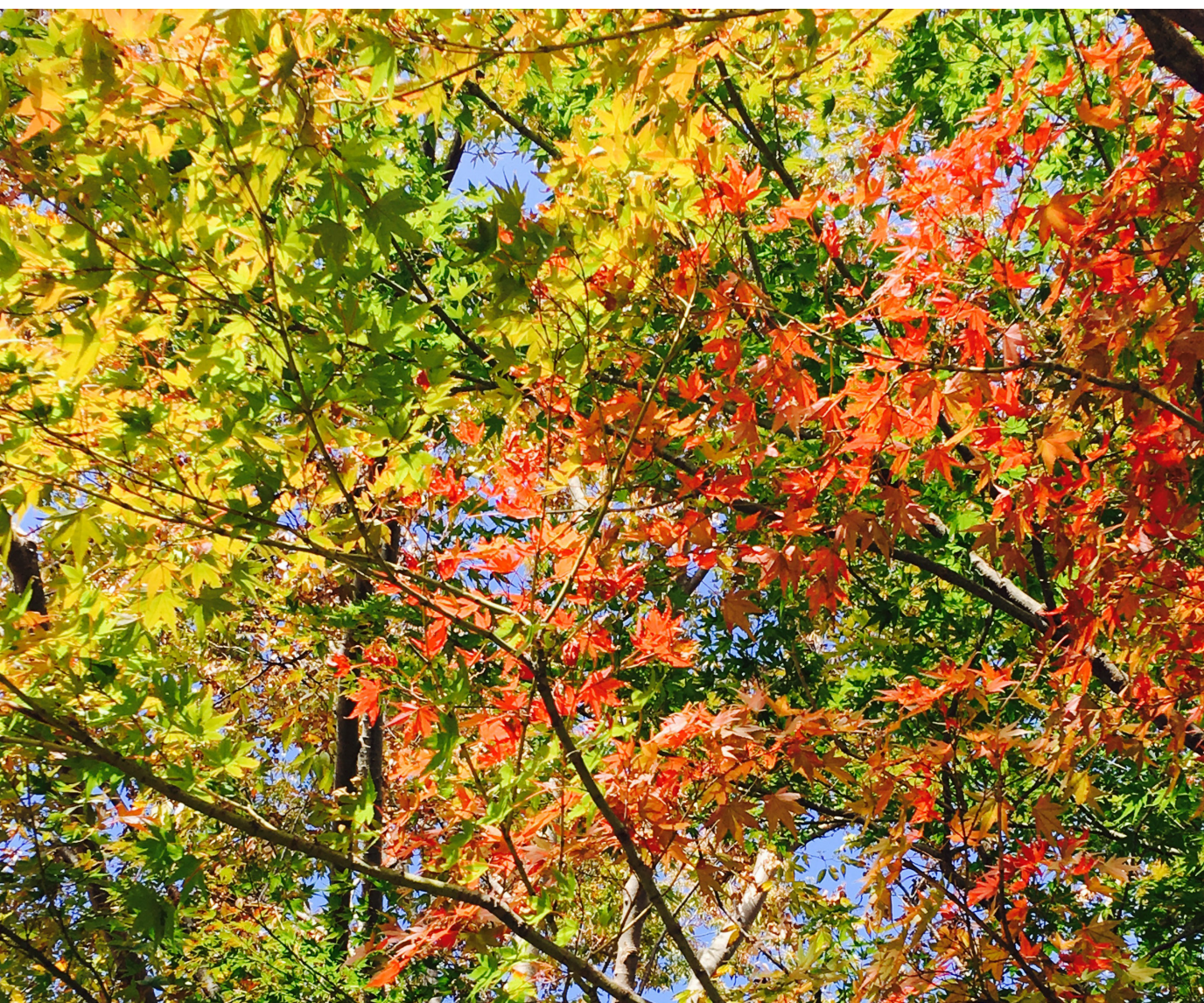
創価大学

Discover your potential
自分力の発見



2018 AUTUMN No.43

SEASON



写真：図書館前歩道に色づく紅葉

ISSN 1349-3760



スペシャル コラム 南方 暁 教授



中央図書館 3階案内図



創大祭 SRP 読書展



図書館掲示板

「お嫂さんと結婚するの？」

—書庫に棲む魔物—



法学部 南方 暁 教授

明治初期の結婚の形の一つに、一家の生活を支える柱である兄が死亡した後に遺妻である嫂（兄嫁）と弟を結婚させる「逆縁婚」があった。「逆縁婚」を調べる必要があつて、当時の家族に関する資料としてとても有用な『人事慣例全集』（金田謙）を探していたところ、中央図書館蔵書の中に復刻版を見つけることができた。本書に収録されている「伺」をパラパラめくってみた。「伺」というのは、明治になってから法律がまだ整備されていない時期、地方官庁が個別の事例について判断に困った時に、中央政府に指示を仰ぐためのもので、「逆縁婚」についても数多くの「伺」事例がみられる。本書に目を通してゆくと、「伺」に添付された当事者からの願書には、「當日ノ活計サヘ如暗夜」「後夫ヲ迎ヘサレハ子供養育難出来為ニ一家廢絶トモ可相成」「性質温順ニシテ私共ハ対シ諸事懇到ナ

ル」「實父母ニ於ケル力如キハ隣家等ニ於テモ熟知仕候」「兩人ヲ娶セサレハ所詮家名難立行」など、大黒柱である兄の死亡によって一家が生活苦に直面し、遺妻を再婚させることもできず、また一家の生活も難しくなり、近所の人々も認める亡夫の親に尽くすよい嫁と義弟を結婚させることで一家の存続ならびに家名の維持を図りたいという趣旨の訴えが切々とつづられている。こうした結婚は姉弟の上下関係を乱すものであり、縦の秩序を重視する中央政府には倫理上許されないと受け容れられなかった。しかし、「逆縁婚」は貧困な家族が家族生活を維持継続してゆくためには必要なものであつたので、「骨肉同胞ノ情義ニ於テ甚穩當ナラサル所爲ト存候」であるが「民間ニ於テハ兄没スレハ弟直ニ其嫂ヲ妻トスル等平常ノ俗ニ相成恬トシテ怪シマサル」とも言われ、現実には

民間で普通のこととして行われているとして、中央政府も「逆縁婚」を認めざるをえなくなった。本書を手に書庫の出口に向かう途中、不謹慎だが、これをドラマ化すると誰が嫂を演めるのだろうか？「綾瀬はるか？若すぎるナア、深津絵里もいいけれど、木村多江、寺島しのぶも捨てがたい」「弟の役は？」などと妄想が静かな書庫でひろがってゆく。「ドラマなら衣装を考えないと？」と目の前の書架をみるとどこからか『日本人のすがたと暮らし』明治・大正・昭和前期の身装』（大丸弘・高橋晴子）を読むべきだと囁きが聞こえ、「お嫂さんと弟に恋愛感情など湧くのだろうか？」と自問すれば『恋愛と性愛』（服藤早苗・山田昌弘・吉野晃編）が目に入ってくる。「ドラマだと貧乏な家のセツトをどう造るだろうか？」と目を移すと『日本民家デザイン集成』（川島宙次著）がこちらの書架に、「暗夜

のような生計の食卓は？」『日本の食生活全集』（日本の食生活編集委員会）があるぞと囁かれ、食卓となるとどのつまりは『廁いろいろ（陰翳礼讃）』（谷崎潤一郎）ではないかと囁きは次から次へ耳に届いて想いはどんどん膨らんでゆく。書庫で立ち止まり、本を手にとって明治時代の人々の暮らしを想像すると、黒い活字で書かれた味気ない「伺」は色合いを帯びて奥の深いものとなってくる。「伺」にはそれぞれ個別の事情があるので、その内容を的確に理解するためには、「伺」に書かれた背後の事情や様子を知れば知るほど「伺」の理解も深まると思う。しかし、こうした囁きに乘せられると「伺」に関する情報から外れて脇筋の文献に次々に手を伸ばしてゆくことになり、しかもそうした文献は法律の文書よりもはるかに心躍り関心を引くものが多い。また、囁きにつられて書架

の間を徘徊しているうちに思わぬ掘り出し物の資料にぶつかる僥倖もある。だが、「この本は面白いよ」「あの本も踏まえなくては」という囁きに抗うことができないと、200件近くある「伺」の整理や分析はほとんど後回しになってゆく。そして落ち行く先は、本筋から離れた甘美な世界に浸ってしまい、仕事の締め切りが目前に迫って右往左往する羽目になる。学生時代、レポート課題を調べるために書庫に入ったものの、何度も本題とは全く関係のない文献を借り出したが、物音ひとつしない書庫には甘くささやく魔物が今も昔も書架のあちこちに棲んでいて私たちを待ち受けていると思う。いともやすやすと魔物に心を売ってしまう私は悲しいかな学生時代と変わらない。

○池田文庫改装十周年記念特別展－創立者と読書の世界 ○小説『新・人間革命』完結記念展示



「池田文庫」は、創立者池田大作先生が15歳から収集された約7万冊に上る蔵書を創価大学にご寄贈いただきました。1997年5月8日に開設されました。今年は2008年の改装から10周年になることを記念し、創立者へ感謝の想いをこめ、改装10周年記念特別展を10月7日から11月11日まで中央図書館1階で開催しました。

今回の展示は学内インターンシップに参加した創大生のアイデアも反映されています。創立者と読書の歴史を、ゆかりの本とともに鑑賞ください。

普段は入ることができない池田文庫内を映像でバーチャル体験するコーナー。



パネルには、創立者の若かりしころの本への思いや、戸田大学での思い出が紹介されている。研鑽で使われた教材などが共に展示されている。

創立者が若き日に読んだ図書や、ゆかりの本が、解説とともに展示されている。



同期間中は中央図書館3階創立者著作コレクション展示室で「小説『新・人間革命』完結記念展示」も開催。25年に及ぶ創立者によるペンの大闘争が、本年9月に完結したことを記念し、『新・人間革命』の中から創価大学・創価女子短期大学についてご執筆されている箇所を関係資料とともに展示しました。



創立者著作コレクション展示室

創大祭 SRP 読書展

Soka Reading Project (SRP) は創立者の活字文化復興の想いを受けて、読書の推進活動を精力的に行っています。

10月7・8日に開催された創大祭期間中、SRPは中央図書館で毎年恒例の読書展を開きました。



今年の読書展のテーマは『What did you read at that time? 1989～2019』です。来年、30年続いた平成の世がいよいよ終ろうとしています。この30年は第2次大戦や東西冷戦など激動の時代だった昭和に比べると、短く感じる方もおられるかと思いますが、しかし、平成の時代も国内



読書展展示の様子

外で悲喜こもごもの様々な出来事が起こり、時代は常に変化しながら流れていきました。そして、時代とともに本の世界も絶えず変化を続けています。

今回の読書展では平成時代を「バブル期」、「失われた10年」、「ゼロ年代」、「ポスト震災」の4つに区分し、それぞれの期間を有名作家、ファンタジー、サクス／ミステリー、メディアミックスと4つのジャンルに振り分け、当時話題になった本について紹介しました。

ビブリオバトル

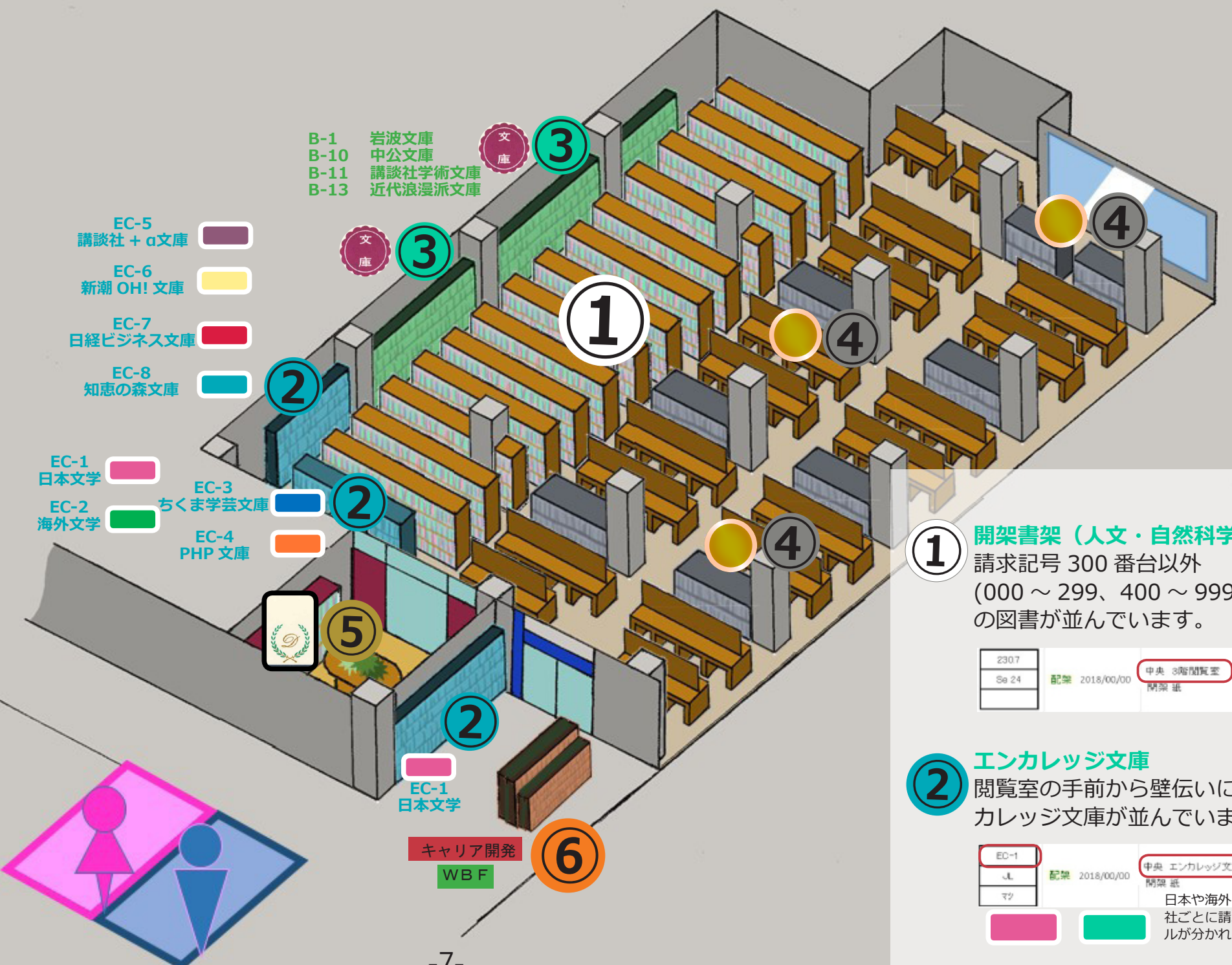
中央図書館2階ブラウジングルームではビブリオバトルを開催しました。ビブリオバトルは、参加者（バトル）がそれぞれお気に入りの本を持ち寄り、制限時間内にその本の魅力を語ってもらう、観客の投票によって、どのバトルが紹介した本を読みたいかを投票して選ぶ、知的書評バトルのことです。

この他にも、来場者がお気に入りの本を紹介する「My favorite books」コーナーや絵本展示コーナーがあり、大変にぎわいをみせていました。



ビブリオバトルの様子

中央図書館 案内図 3階編



- ③ **文庫**
請求記号「B-1」の岩波文庫から始まる文庫のコーナーです。

B-1	岩波文庫
B-10	中公文庫
B-11	講談社学術文庫
B-13	近代浪漫派文庫

- ④ **大型本**
閲覧机の間にある書棚は、普通の本棚に収まらない大型本のコーナーです。美術書などが豊富です。

702.16	中央 大型図書
H 34	開架 紙

- ⑤ **創作者著作コレクション**
国内外で出版された創作者の著作を展示しています。
(室内での閲覧のみ可)

D	中央 創作者著作コレクション
	開架 禁帯出 紙

- ⑥ **キャリア科目課題図書
留学生図書**
キャリア科目の課題図書と、留学生が日本語を勉強するのに適した学習書があります。

007.3	中央 キャリア科目課題図書 WEB/キャリア開発
Sc 8	開架 紙

XT	中央 留学生図書
810	開架 紙
Sa 75	

- ① **開架書架（人文・自然科学系）**
請求記号 300 番台以外
(000 ~ 299、400 ~ 999)
の図書が並んでいます。

230.7	中央 3階閲覧室
Se 24	開架 紙

- ② **エンカレッジ文庫**
閲覧室の手前から壁伝いにエンカレッジ文庫が並んでいます。

EC-1	中央 エンカレッジ文庫
マ	開架 紙
マ	

日本や海外の文学、出版社ごとに請求記号とラベルが分かれています。

中央図書館 開館日程

通常開館時間

8 : 30 ~ 21 : 00

休館

10 : 00 ~ 19 : 00

9 : 00 ~ 21 : 00

10 : 00 ~ 17 : 00

11 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

冬期長期貸出のお知らせ

今年も、冬期長期貸出が始まる季節になりました。

皆さんは今年、何冊の本を読みましたか。気になっても読まずにいた本を、冬休み期間にゆっくりと読んでみてはいかがでしょうか。

2 週間貸出者：学部生・短大生

12 月 7 日（金）～ 12 月 25 日（火）

4 週間貸出者：教職員・大学院生・通教生

・創友会・市民利用

12 月 7 日（金）～ 12 月 11 日（火）

一斉返却日：2019 年 1 月 9 日（水）